中国
◇ 広島支局 ◇
広島市中区上八丁堀７-１
ハイオス広島６Ｆ
☎082(227)4501
FAX082(228)2373

広ガス 広プロパン
SDGs念頭に活動
グループ基本戦略 次代見据え事業拡大

泉博之社長

広島ガスプロパン（本社・広島県海田町、泉博之社長）は今年度、グループ基本戦略として▽総合エネルギー事業のさらなる拡大▽環境への貢献につながる事業展開と次世代エネルギー研究▽デジタル技術活用による高付加価値の創造▽グループ組織力強化▽安心安全のさらなる追求▽社会貢献活動推進▽グループ経営基盤強化▽地域社会からの信頼につながる経営の推進――の8目標を掲げた。

総合エネルギー事業のさらなる拡大では▽新規物件の獲得強化と各種サービスの展開により、ガス販売量を維持・拡大する▽M&A、事業譲渡等への積極的投資により顧客件数を拡大する▽エネルギー周辺事業を中心に新たな商材を開拓し、ガス外収益の増大を図る▽超高齢化社会（人口減少・少子化の加速）を見据え、業務の効率と安定供給の確保を図る――に取り組む。

環境への貢献につながる事業展開と次世代エネルギーの研究では、低炭素化の観点から、高効率ガス機器と再生可能エネルギー利用機器の普及拡大を図る。

デジタル技術の活用による高付加価値の創造では、LPWA（省電力広域）通信システムを積極的に普及拡大することで、業務効率化の推進、保安レベルの向上と顧客サービスの充実を図るとともに、高度化、多様化する顧客ニーズに応えるため、先進的なデジタル技術を活用する。

グループ組織力の強化では▽やりがいや働きがいが持てる職場作りを推進し、生産性の高い働き方を実現する▽顧客の期待を超えるサービスの提供に向けた創造性豊かな人材を育成する▽グループとしての成果を最大化できるよう、グループ間の連携強化を推進し、グループ総合力の向上を図る――を推進する。

安心安全のさらなる追求では▽安心・安全・安定的にLPガスをお届けするため、充填、配送、消費者全般にわたる自主的な計画を策定し、着実に保安活動を強化・実施する▽グループ一体となって保安人材の教育を強化する▽事故防止対策と地震など自然災害対策を強化し、重大事故ゼロを継続するとともに、防災力を向上させる▽災害時における業界団体、グループ内での連携や供給体制のさらなる強靭化を図る――を進める。

社会貢献活動の推進では▽エネルギー供給等を通じて地域産業の発展や地域の活性化に大きく貢献する▽「ひと思い活動」「くらし思い活動」「環境思い活動」の三つの活動の柱に基づき社会貢献活動を推進する。活動に当たってはSDGs（持続可能な開発目標）を念頭に置き、進めていく。

グループ経営基盤の強化では、変化する事業環境下においても将来利益を生む事業分野に積極的に投資し、収益向上につながる組織機能の強化を図る。

優秀販社など43者を表彰

広島ガスプロパンは、新型コロナ対策によるグループ新年互礼会の中止に伴い、受賞店を訪問し、表彰状や賞金を贈呈した。

受賞者は次の通り（敬称略）。

【優秀販売表彰】広島ガス東中国、広島ガス東部、広島ガス西中国、広島ガス中央、広島ガス湯来販売、尾田プロパン、ハヤカワ、岡山安全ガス

【保安優良表彰】広島ガス高田販売、広島ガス東部、広島ガス西中国、広島ガス北部販売、広島ガス中央、広島ガス可部販売、広島ガスエナジー、芸北プロパン不二屋、広島ガス呉販売、広島ガス三原販売、広島ガス東中国、ハヤカワ、岡山安全ガス

【保安特別表彰】敢闘賞＝正和液化

【器具セール表彰】▽新規獲得キャンペーン＝広島ガス中央、広島ガス西中国、広島ガスエナジー、尾田プロパン、広昭、笠岡中国プロパン▽他燃料転換キャンペーン＝広島ガス高田販売、広島ガス東部、広島ガス湯来販売、広島ガス東中国、広島ガス伯方▽ガス器具下取りセール＝広島ガス可部販売、広島ガス北部販売、長谷川プロパン、広島ガス呉販売、広島ガス東中国、廣昭

【顕彰】▽2020年度高圧ガス保安協会会長表彰（保安優良販売事業者）＝芸北プロパン不二屋▽20年度ガス保安功労者中国四国産業保安監督部長表彰（ガス主任技術者）＝原晃幸（広島ガスエナジー）▽20年度高圧ガス保安中国四国産業保安監督部長表彰（優良製造所）＝広島ガス高田販売▽20年度高圧ガス保安功労者等知事表彰（優良従事者）＝実重祐也（広島ガスエナジー）

新春語録

信頼の絆を太く
藤田尚徳・岡山県LPガス協会会長

昨年は新型コロナウイルスが瞬く間に蔓延し、パンデミックを引き起こした。LPガス業界でも料理飲食店の需要の低下はもとより、主にタクシーで利用されているオートガスの需要はこれまでに経験したことがないほど落ち込んでいる。需要減だけでなく、お客さまによってはガス料金の滞納が増加し、会員の皆さまも対応に苦慮していることと思う。まずは感染防止のための最大限の努力をすることと、国の支援策を活用しながら経営や生活を存続させることが必要だ。

LPガス事故では昨年7月に福島県郡山市で発生した業務用厨房の爆発事故がマスコミでも大きく取り上げられた。原因はまだ不明とのことだが、ガス警報器とSBメーターの連動が確実に作動していれば、防止できた事故と言える。業界全体のイメージダウンになることを危惧しており、LPガス＝事故というイメージ払拭のため各種事業を展開していきたい。

消費者がエネルギーを自由に選択できる時代であり、LPガスを選んでいただくには、経営者から第一線の担当者にいたるまで、LPガスの良さをしっかりお客さまに伝える共通認識が大事。そのためには、お客さまとの信頼の絆のパイプを太くしていくことが最も重要。「事故を撲滅すること！」「お客さまとの接点を強化すること！」「電気に勝るガス機器の販売強化を図ること！」が必要と考えている。

創意工夫で勝ち抜く
武信和也・広島県LPガス協会会長

LPガスを取り巻く環境は、少子高齢化による需要の低迷、他エネルギーとの競争激化、人手不足など、厳しい状況が続いている。一方で、われわれの業界は、消費者に接する機会が多いという十分な基盤を持っているとともに、LPガスは災害に強いという特性も持っている。

県協会においても、流出容器等回収処理要綱の制定や防災協定に基づく自治体との連携強化など、実際に災害が起きた時に販売事業者や被災地域を支援できる体制づくりを進めている。

消費者は「価格を安くすること」と合わせ、「安定供給」「安心・安全」を期待しており、消費者に納得していただける料金設定をするとともに、安全の確保を図り、平時はもちろんのこと、災害時にも安定して供給できる体制を構築していく必要がある。

令和の時代になり、いきなりコロナという疾病に見舞われることとなったが、このような状況においても、創意工夫をもってさまざまなサービスを提供し、他エネルギーとの競争に勝ち抜いていきたい。

今年も山積する課題を克服するため、会員の皆さまのご支援ご協力をいただきながら、一歩一歩着実に協会活動を進めていきたい。

九州

◇ 福岡支局 ◇
福岡市博多区中洲中島町３-10
福岡県消防会館
☎092(271)2708
FAX092(271)2878

LPガス消費者
3736戸中1792戸が未復旧
「20年7月豪雨」熊本県協まとめ

熊本県LPガス協会（佐藤逸郎会長）は、昨年7月の豪雨被害について昨年末時点の状況をまとめた。記録的な豪雨で県南地域を中心にLPガス供給先や会員事業所に大きな被害が出ていた。

7月豪雨による消費者被害は、最大3736戸で供給が停止した。1944戸が復旧したが1792戸が未復旧。未復旧の内訳は、避難などで供給再開の連絡待ちが725戸、家屋全壊や転居による解約が1067戸。会員事業所の被害は浸水24件、土砂被害1件、その他1件。人的被害は1事業所（球磨村・愛甲商店）で3人が死亡した。

流出が確認できた容器は290本で、うち回収済み212本、未回収78本。流出容器は海上保安庁、警察、住民などからの情報提供を受け、その都度協会から該当地域のブロック長へ回収を依頼した。

協会としての対応は、7月15日に甚大な被害を受けた八代市坂本町と人吉市に災害緊急支援組織「チームLPG」を派遣し、流出容器の回収や泥のかき出しを実施。同29日には宇城市の八代海沿岸で漂着容器の回収を行った。

2016年の熊本地震以降、県業界を挙げて容器転倒防止のため鎖の二重掛けやガス放出防止型高圧ホースの設置を推進。豪雨災害でも高い効果があり、改めて有効性を確認することができたとして、協会ではさらなる設置推進を呼びかけている。併せて、事務所の浸水などで固定電話やファクスが不通となった場合もSNSでの連絡が可能であったため、会員間での被災情報共有に向け「協会LINE」への登録を要請している。

宇城市の八代海沿岸に漂着した容器を回収するチームLPG（昨年7月29日）

内海久俊代表

温水床暖
家庭内感染防止に
リボンガス 換気しても暖かい

新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言期間が福岡など10都府県で延長された。病床ひっ迫を受けた自宅療養中の重症化が深刻な問題になるなか、独自の温水床暖房「ユカカラ暖房」を展開するリボンガス（本社・熊本市）の内海久俊代表は、家庭内感染対策としての温水床暖房に商機を見出す。

「コロナ禍でどこにも出かけず家で過ごすことが求められている。第1波、第2波と異なり現在問題になっているのは家庭内感染。特に重症化しやすい高齢者への感染リスクが高まっている。感染防止のため換気を徹底すれば、室内はますます寒くなりヒートショックなどの危険性も高まる」と語る内海代表は、「家族の大切な家時間、暮らしの質を向上させるお手伝いがわれわれの仕事であり、家族の大切な家時間、暮らしの質を向上させることに改めて目が向くことは決して悪いことではない。2月以降も当分自粛生活が続く。家での暮らしをもっと居心地よく安全・快適に過ごしたいというニーズは確実に高まってくる。そこにわれわれがお手伝いできることはいくらでもある」と内海代表。「温水床暖房、浴室暖房のほか、ウォールヒートなどのスポット暖房で空調の質を良くしてあげたり、灯油の入れ替えや換気が必要で火事の心配もある石油ストーブに代わる〝ユカカラ暖房〟などの安全な暖房を提案することも大切な仕事。われわれの役割を再認識したい」と訴える。

書文イ周ク
17通増8932通の応募
福岡県協 210人に賞品発送

福岡県LPガス協会（和田博美会長）が今年度事業で展開した家庭用周知文書「エナジーニュース」のプレゼントクイズ応募総数は前年度比17通増の8932通で、3年連続でプラスとなった。

エナジーニュースは91万部を消費者に配布。プレゼントクイズ応募者のうち正解者の中から抽選で210人にVJAギフトカード（1等2万円分10人、2等1万円分50人、3等3千円分150人）の当選者を選出、各販売店宛てに賞品を発送した。

協会事務局では「応募はがきには、新型コロナ感染が拡大するなかでも検針や容器交換を行う販売店への感謝の言葉や〝おうち時間〟が増えたことで新たな機器購入を検討しているとの記述が多くみられた。意見や質問、機器購入検討についての記載があるものは各販売店にファクスで送信した。顧客との対面機会が作りにくい状況下だがぜひ活用してほしい」としている。

栫正治氏

コロナ下も安定供給を
JGE オンライン新年交流会

ジャパンガスエナジー（本社・東京、吉田正俊社長）は1月19日、オンラインで新年交流会を開いた。

九州地区では全国JGE会長の栫正治氏（共栄会長）が年頭あいさつを述べた。

栫会長は「今年は丑年。昨年に続き新型コロナウイルスの影響で先が見通せないが、〝牛の歩みも千里〟ということわざが示すように努力を怠らなければ、いずれ大きな成果を上げることができる。一歩一歩着実に進んでいきたい」と展望したうえで、「会員一丸となって、社会的使命でもあるLPガスの安定供給に努めよう」と呼びかけた。

LPガス事故20年は23件に
九州保安監督部速報

九州産業保安監督部は1月28日、2020年1～12月の管内LPガス事故発生状況の速報値を公表した。

容器盗難・喪失を除く事故件数は前回発表の同18日から2件増の23件。発生状況は漏洩19件、漏洩火災4件。

また、段階別では供給15件、消費8件。県別では福岡7件、佐賀6件、長崎5件、宮崎・大分各2件、鹿児島1件、熊本ゼロ。

設備工事受理など始良市に移譲へ
鹿児島県

鹿児島県は、LPガス法に基づき始良市で行う事務の一部を4月1日から市に権限移譲する。対象は①LPガス法第38条の3の規定に基づくLPガス設備工事の届け出の受理②同第87条第1項に基づく関係機関への通報（前号に掲げる事務にかかるものに限る）。

LPガス設備工事の届け出は市消防本部予防課（☎0995―63―3819）が窓口となる。

エネルギーの恵みをすべての人に。
人と地球の快適を支えるエネルギーカンパニー。
https://nishi-nihon.enexhl.jp/
伊藤忠エネクスホームライフ西日本株式会社
代表取締役社長 葛山 修治
本 社／広島市中区橋本町10番10号（広島インテス7F） TEL(082)502-2500(代)
支 店／岡山・広島・山口・山陰

全国どこでも信頼のブランド。
マルキプロパン Marui Gas
環境にやさしいクリーンエネルギー、
LPガスの可能性を、さまざまな分野に広げます。
Iwatani
岩谷産業株式会社
エネルギー中国支社
〒730-8541 広島市中区銀山町2番21号 TEL(082)249-3615 FAX(082)246-0185 http://iwatani.co.jp